

9月下旬。実りの秋を迎え、各所で稲刈りが進められていました。村内では、食用米・飼料用米・加工用米・酒米・ホールクroppサイレージ（稲発酵粗飼料）用米を合わせた稲の作付け面積が297.6haとなりました（令和7年6月現在）。写真は関沢地区の水田。多くの人の努力と挑戦により、実りの田園風景が、年を追うことに広がっています。